



## 函館の魅力を再編集！！ 「函と館」プロジェクトのご案内 2015年11月下旬よりスタート

函館空港ビルデング株式会社（所在地：北海道函館市 代表取締役社長 水島良治）は、1716年創業の奈良の老舗、株式会社中川政七商店（所在地：奈良県奈良市 代表取締役社長 十三代 中川 淳）のご協力のもと、函館の魅力を多くの人に知っていただくため、街の魅力を再編集する新たな取組みとして、「函と館」プロジェクトを立ち上げました。

### プロジェクトの経緯

2016年3月北海道新幹線の開業を控える中、函館の街がより一層、全国的に注目されることが予想されます。函館空港においても旅行者の交通の要衝としての機能にとどまらず、旅行者と地域文化の出会いの場となる事が必要と考えました。当プロジェクトは、函館空港ビルデング株式会社の中堅若手社員が中心となり中川政七商店のご協力を得ながら、「函と館」というコンセプトのもと、函館の魅力を再編集・発信していきます。

### 「函と館」とは？

幕末期、日本を代表する貿易港としていち早く世界に門戸を開いた函館。開港とともに栄えた西部地区（函館山のふもと）には、1階が和風、2階が洋風に設計された函館独特の和洋折衷住宅が数多く見られます。この函館の象徴、和洋折衷住宅が和風と洋風の「対」になっていることから、「函と館」というコンセプトが生まれました。



写真提供／函館市公式観光情報サイト「はこぶら」



## 主な取組み

### ① 「函館らしい土産もの」の開発

地元メーカーとともに地域の文化・物産を発信するための土産ものづくりを行います。



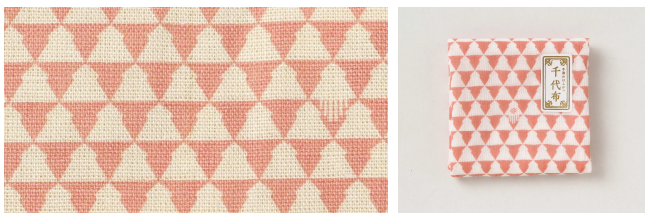
**\* (商品例)**

**加賀谷旗店の「国際信号旗バッグ」**

1897年(明治30年)に函館の地で創業した加賀谷旗店がもつ大漁旗の染めの技術をいかして、国際信号旗をモチーフに1枚1枚手作業で染め上げられた職人技から生まれる布を用いてバッグを開発。横浜、長崎ともに日本最初の貿易港として開港した函館らしい土産ものです。

### ② 土産ものや「函と館」のオープン

函館空港国内線ターミナルビル2階売店ポルクス内に土産ものや「函と館」をオープンします。(2015年12月1日予定)



**\* (商品例) 「いかうろこ紋」シリーズ**

函館の名物であるいかの小紋文様のひとつである鱗紋を組み合わせたオリジナルテキスタイル「いかうろこ紋」シリーズを「函と館」限定で販売いたします。

### ③ 旅行ガイド本「函と館」の出版協力

「夜景」と「裏夜景」、「トラピスト」と「トラピスチヌ」など、函館の魅力を「対」にして紹介する今までにないタイプのガイド本です。

(中川政七商店／細萱久美著 2015年11月下旬 平凡社より発刊予定)

### ④ 地元企業と協力したイベントの開催

函館空港国内線ターミナルビル3階「HakoDakeHall」及び函館蔦屋書店にて旅行ガイド本「函と館」の出版及び土産ものや「函と館」オープンイベントを開催いたします。

(2015年11月下旬予定)

コンサルティング：株式会社中川政七商店 <http://www.yu-nakagawa.co.jp>

中川政七商店は「日本の工芸を元気にする!」というビジョンのもと、業界特化型の経営コンサルティング事業を展開しています。過去事例としてHASAMI(長崎県・波佐見焼)、包丁工房タダフサ(新潟県・刃物)、BAGWORKS(兵庫県・鞆)、mino(新潟県・ニット)、堀内果実園(奈良県・ドライフルーツ)など。これらの個性豊かな作り手たちが集う展示会「大日本市」を年3回開催しています。

## 《お問合せ》

函館空港ビルディング株式会社 「函と館」プロジェクト 佐藤拓郎 hakototate@airport.ne.jp

〒042-0952 北海道函館市高松町 511 番地 函館空港内

電話：0138-57-8882 FAX：0138-57-8088 URL：http://hakototate.jp/